

# 庫内事故を減らす 物流倉庫工事 おすすめ安全対策3選

| 項目         | 内容                              | 効果                          | 実施時期        |
|------------|---------------------------------|-----------------------------|-------------|
| 1. 床面補修    | 床面が凹んだり、割れたりしている箇所を補修する。        | 転倒・落下事故の発生を防止する。            | 定期的な点検と即時対応 |
| 2. 照明の整備   | 照明器具の点検と交換を行い、十分な明るさを確保する。      | 視認性を向上させ、作業ミスや障害物を発見しやすくなる。 | 定期的な点検と交換   |
| 3. 安全標示の設置 | 危険箇所や作業区域に適切な安全標示（テープ、看板）を設置する。 | 作業員の注意を喚起し、危険を回避させる。        | 工事完了後、作業開始前 |



無料ダウンロード



物流倉庫における事故防止のため、多くの企業が安全研修を実施し、従業員の意識向上に努めています。しかし、事故の根本原因を排除し、真に安全な環境を構築するためには、既存の物流倉庫そのものの物理的な見直しと改善が不可欠です。本レポートは、ナカノ商会が培ってきた専門知識と事例を基に、倉庫内の事故削減を目的とした「安全対策工事」について紹介します。

## 倉庫内事故の主な種類

### ● 転倒・滑落

最も頻繁に発生する事故の一つであり、床面の劣化（ひび割れ、段差、滑りやすい表面）、通路の障害物、不適切な照明などが原因で引き起こされます。軽度の捻挫から重度の骨折まで、様々な負傷につながります。

### ● 墜落・転落

高リスクのカテゴリーに属し、高所作業台、中二階、または高層ラックでの荷役作業中に発生しやすい事故です。不安定な構造、手すりや安全ネットなどの墜落防止設備の不足、あるいは昇降設備の不適切な使用が原因となります。

### ● 挟まれ・巻き込まれ

コンベア、無人搬送車（AGV）などの稼働中の機械やその他の設備との接触により発生します。機械の安全ガードの不備、可動部分周辺の視認性不足、または安全な作業手順からの逸脱が主な原因です。

### ● フォークリフトによる衝突

重量のある産業車両と歩行者が限られた空間で共存する環境下において、主要かつしばしば深刻な危険源となります。不明瞭な交通経路、多数の死角、車両と歩行者経路の物理的分離の不足がリスクを増大させます。

### ● 落下物

棚、ラックからの物品の落下、または手作業・機械作業中の荷崩れによって発生します。不安定または過積載のラックシステム、不適切な積み付け方法、保護柵の欠如などが原因です。落下物による事故は、特に重傷につながりやすい傾向があります。

### ● 腰痛などの筋骨格系疾患

直接的に建設上の欠陥に起因するわけではありませんが、腰痛などの筋骨格系疾患は物流部門で非常に多く見られます。これらは、非効率な倉庫レイアウト、作業ステーションの人間工学的設計の不備、過度な手作業への依存などから生じることが多く、これらはいずれも、動線を最適化し、機械補助のためのスペースを確保する建設的介入によって間接的に軽減が可能です。

## 事故発生に繋がる倉庫環境の具体例

### ● 老朽化および劣化するインフラ

倉庫施設の経年劣化は避けられず、床面の劣化（ひび割れ、段差、剥離）、ラックシステムの弱体化や損傷、そして昔ながらの水銀灯など非効率な照明インフラは重大な問題を引き起こします。

### ● 最適化されていないレイアウトと非効率な動線

通路の不明瞭さや未標示、歩行者と車両経路の明確な分離の欠如、そして施設内の多数の死角の存在が挙げられます。

### ● 不十分で一貫性のない照明

照度不足や不均一な光の分布は、視覚の鮮明さを損ない、距離の誤判断、作業ミスの増加、そして作業員の疲労加速につながります。

### ● 不十分な防災対策

最新の消火設備の不足、不明瞭または障害物のある避難経路、そして地震活動に対する構造的補強の不足などが挙げられます。

安全でない倉庫は、単なる負債ではなく、本質的に非効率でコストがかかる存在です。安全上の問題に建設的な介入を通じて対処することは、単なるコンプライアンスコストではなく、運用フローを最適化し、エラーを削減し、全体的な生産性を向上させる戦略的な投資となるのです。

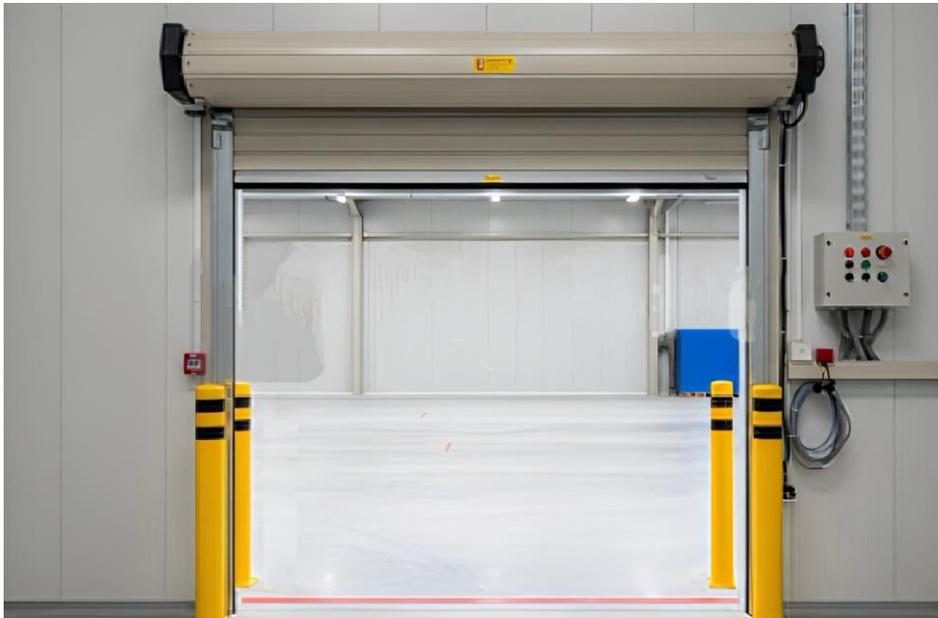
また、「転倒」、「墜落・転落」、そして「フォークリフトによる衝突」といった最も一般的な事故タイプは、倉庫内における人間、機械、そして構築された環境間の物理的インターフェースの根本的な再設計の必要性を示しています。これは、問題が個々の行動の問題を超え、システム的な設計上の欠陥にまで及んでいることを示唆しています。

これらの事故は、**物理的なレイアウト、構造的完全性、および倉庫の環境条件**によって深く影響されます。したがって、正しい工事を行うことで、これらのリスクを軽減することができます。

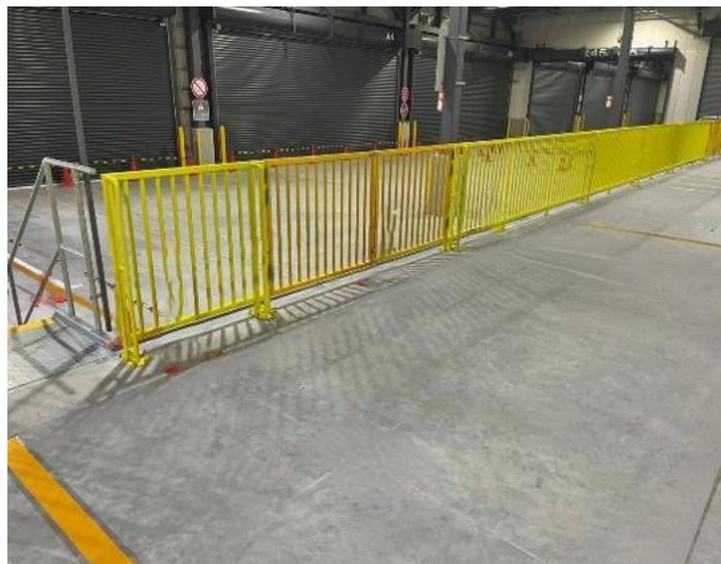
そこで今回は3点に絞って安全対策工事をご提案いたします。

| No. | 工事種別       | 主な解決課題             | 主要な安全効果                  | 関連する副次的メリット                 |
|-----|------------|--------------------|--------------------------|-----------------------------|
| 1   | ガードポールの設置  | 危険区域や立ち入り禁止区域への誤進入 | シャッターや消火栓などの重要設備の損傷リスク回避 | 重要な設備を接触・衝突から効果的に保護         |
| 2   | バース部の安全柵設置 | フォークリフト・作業員の落下     | 作業ミス削減、転倒事故防止            | 人身事故・物損事故防止による円滑なオペレーションの維持 |
| 3   | スロープの設置    | 転倒事故・荷崩れによる運搬機器の損傷 | 段差をなくすことによる転倒事故の防止       | 荷物破損による賠償・企業信用失墜の阻止         |

|                    |  |
|--------------------|--|
| <b>工事内容</b>        | <ul style="list-style-type: none"><li>● <b>ガードポール</b>：ロールボックスやフォークリフトの接触が起きやすい出入り口や制御盤付近に設置します。黄色のポールで視覚的に注意喚起を行い、接触・衝突時には損傷を防止します。</li><li>● <b>収納式ポール</b>：必要に応じて地中に収納可能な車止めバリカーです。駐車場やバース、工場などの出入り口付近で、時間帯によって車両や人の通行可否を切り替えたい場合などに有効です。</li></ul> |
| <b>安全への効果</b>      | ガードポールは、万が一の接触時に衝撃を吸収します。優れた耐久性と視認性により、破損リスクを低減し、修繕などの長期的にはコストダウンにも貢献します。  |
| <b>工事による副次的な効果</b> | シャッターや制御盤などの重要な設備を衝突から効果的に保護します。   |



|                    |  |
|--------------------|--|
| <b>工事内容</b>        | 安全柵：トラックバースへの落下防止を目的とした安全柵設置工事です。  |
| <b>安全への効果</b>      | バース安全柵は、荷捌きや車両接車時における作業員の転落・落下事故を防止し、従業員の命と健康を守ります。落下リスクを物理的に遮断することで、現場全体の安全意識を高め、安心して作業できる環境づくりにつながります。 |
| <b>工事による副次的な効果</b> | トラックバースからの落下を防ぎ、人命に関わる重大事故の発生を防止します。また、荷積みドックの安全を確保し、事故・怪我・製品の損傷を未然に防ぐことで、円滑な物流オペレーションを維持します。            |



|                    |   |
|--------------------|---|
| <b>工事内容</b>        | 倉庫廊下と庫内のある十数センチの段差を解消するため、鋼製スロープを製作・設置します。現場の幅や荷重条件に合わせて寸法を調整し、床面にしっかりと固定する施工を行います。 |
| <b>安全への効果</b>      | 段差につまずく転倒事を防止します。人員の安全を守るとともに、スムーズな搬送動線を確保することで作業環境を安心・安全にします。                      |
| <b>工事による副次的な効果</b> | 荷物搬入の効率が向上し、作業時間の短縮や負担軽減につながります。また、段差による製品落下や機器損傷のリスクも低減し、結果的にコスト削減と職場環境の改善に寄与します。  |



ナカノ商会は、安全対策工事の経験を基に、オーナー様とお客様の間に立ち、課題に対して計画・設計・施工・運用支援まで一貫したトータルサポートを提供いたします。ポール設置や落下防止策の設置、補助金の活用に至るまで、複雑で高度な要件を一つひとつ確実にクリアしながら、安心・安全・高品質な物流倉庫の実現をお手伝いします。「今ある倉庫をより安全にしたい」「コストと補助金のバランスを見て最適な提案が欲しい」といったご相談から、現地調査、許認可対応、完成後のメンテナンスまで、柔軟に対応いたします。

カテゴリで絞り込む



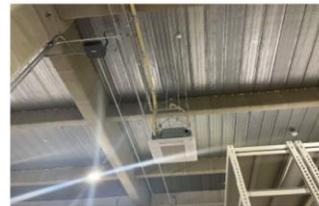
絞り込む

## 空調設置工事

空調工事 電気工事

概要

|      |                      |      |        |
|------|----------------------|------|--------|
| 発注者  | テナント様                | 所在地  | 東京都江東区 |
| 工事期間 | 2023年9月1日～2023年9月30日 | 工事内容 | 空調設置工事 |



After

テナント様の入居に伴い、庫内作業員様が快適に働ける環境を整えるため、新たに庫内2フロアの空調設備を導入しました。既存の空調設備では十分な環境を確保できなかったため、作業環境の改善と健康管理の向上を目的とした設備改修を実施しました。計画段階から施工、お引き渡しまで、全て予定通りスムーズに進めることができ、快適な職場環境を提供することができました。

## 「施工事例・実績」

↓ はこちら ↓




経理・補修  
事務所内装工事  
この案件の詳細を見る

屋根・撤去  
退去に伴う原状回復工事  
この案件の詳細を見る

解体・撤去  
間仕切り設置工事  
この案件の詳細を見る



# ナカノ商会

## Human Energy Logistics

お問い合わせフォーム



**会社名** 株式会社ナカノ商会（ヤマトグループ）

**担当部署** 不動産事業部

**住所** 千葉県市川市行徳駅前2丁目25 - 25NT商会ビル3階

**電話** 047-711-4317

**メール** 賃貸 : souko-nakano@at-ns.co.jp  
工事 : f-cm@at-ns.co.jp

ご不明点・ご質問があれば、お気軽にご連絡ください。